

平成元年生まれ「お~いお茶」が日本文化を令和につなぐ 発売30周年の感謝を込めて 令和元年記念ボトル「お~いお茶」を配布

株式会社伊藤園（社長:本庄大介 本社:東京都渋谷区）は、「お~いお茶」発売30周年を記念して、新元号「令和」を迎えた5月1日（水・祝）より「日本の文化を未来へつなげよう」プロジェクトを開始しました。本プロジェクトでは、初物で縁起の良いとされる“新茶”を使用した『令和元年記念ボトル「お~いお茶」』をこれまでのご愛顧への感謝を込めて社員より全国の皆さまに配布してまいりました。

5月28日（火）は『令和元年記念ボトル「お~いお茶」』配布イベントの最終日として、広島県廿日市市の宮島と、東京都千代田区のJPタワー「KITTE」の2箇所で開催しました。東京会場では代表取締役社長 執行役員 本庄大介より「お~いお茶」発売30周年に対する想いや、お客様への感謝を述べさせていただきました。



今回のイベントは、平成元年2月1日に発売し今年で発売30周年を迎えた「お~いお茶」をご愛飲いただいているお客様へ、感謝の想いを伝えるために企画されたものです。また「令和元年5月」を時代の転換地点と捉え、更なる日本のお茶文化、地域の文化の発展を願い、日本文化を未来へつないでいくことをテーマに、歴史的・文化的な観点で日本の象徴となる場所をイベントの会場といたしました。

令和を迎えた初日の2019年5月1日に北海道函館市の五稜郭からスタートし、5月16日には日本三名城の一つとされる熊本県熊本市の熊本城、5月21日は世界文化遺産に登録されている京都府京都市の元離宮二条城で実施しました。5月28日は世界遺産・日本三景の島である広島県廿日市市の宮島と、日本の中心であり、新しい文化の発信地ともいえる東京都千代田区、丸の内にある「KITTE」で開催しました。

東京会場ではイベント開始時に、当社の代表取締役社長 執行役員 本庄より「お~いお茶」発売30周年の感謝の気持ちや今後への想いを述べさせていただきました。また、その後、社長自らも社員と一緒に令和元年記念ボトル「お~いお茶」を皆さまにお配りしました。



伊藤園 代表取締役社長 執行役員 本庄大介の挨拶概要

平成元年に誕生した伊藤園の「お〜いお茶」は、今年、発売30周年を迎える事ができました。おかげさまで「お〜いお茶」ブランドは、年間20億本以上販売するまでに成長しました。これもひとえに、これまで皆さまにご愛顧をいただきました賜物と存じます。改めて、皆さまに感謝を申し上げます。

いままでのご愛顧への感謝をお伝えするとともに、お茶の伊藤園として「お茶」とともに「日本文化」を未来へつないでいきたいという想いから「日本の文化を未来へつなげよう」プロジェクトをスタートいたしました。このプロジェクトでは、令和という新時代を迎えた令和元年5月1日より、日本を代表する史跡や名所など全国5会場で、令和元年記念ボトル「お〜いお茶」をお配りいたしました。初物で縁起物である平成最後の「新茶」を使用した本プロジェクト限定の記念ボトルを社員より感謝を込めてお渡ししました。

また本日の東京会場では、伊藤園の取り組みを紹介したパネルの展示や来場者の方々がお茶とともに文化を発信していただけるようフォトブースを設けました。来場したお客様に楽しんでいただき、この取り組みを機に、改めて『お茶の伊藤園』に親しんでいただけますと幸いです。皆さまに育てていただき、平成と共に歩んできた「お〜いお茶」。令和の時代と共に、気持ちを新たに、さらに皆さまにご愛顧いただける「お〜いお茶」を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



令和元年記念ボトル「お〜いお茶」PET350ml（非売品）

平成が終わり新時代「令和」への転換期を記念するとともに、ご愛顧いただいた皆さまに感謝の気持ちを込め、初物で縁起の良い「平成最後の新茶」を入れた特別な「お〜いお茶」をご用意。祝令和元年と書かれた特別仕様のペットボトルは非売品で、各会場に来場されたお客様へ数量限定でお配りいたしました。

